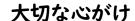
鷹栖町立鷹栖中学校 学校だより 令和7年5月30日 第2号



倉中だらう

- ◇校 訓「響(ひびき)~自分の心に みんなの心に~」
- ◇教育目標「自立 持続 感動」
- ◇重点目標「主体的に学び、判断し、表現できる生徒の育成」

TEL: 87-2008 FAX: 87-2104 MAIL: takachu@takasucho.ed.jp



校長本田明路

国宝「舎利殿」で有名な鎌倉の円覚寺の境内に、「佛日庵」という北条時宗を祀るお堂があります。そのお堂のしおりに次のような文字が書かれています。

ことば自体は、中国禅宗の祖とされる達磨大師の訓であるとも言われているものですが、 字の形が興味深いのに加え、人生訓としても意味深いものです。

このことばは次のように読みます。

「人はおおきく 己は小さく 心はまるく 腹たてず 気はながく 口つつしめば 命ながかれ」

字の形がことばを表していて、とても面白い表記となっています。そして、 意味は人が生きていく上での気持ちのもち方や、心がけ、自分以外の人との 接し方にふれており、教育的にも深い意味を含んでいると思います。

直訳では「人には寛大に接し 自分は謙虚さを失わず 優しい心をもち 物事にも腹を立てず 焦らずに気を長くもつことを心がけ 口をつつしめば 命は長らえることができる」となりますが、この意味を次のように4つに分けて解釈してみました。

「人は自分の未熟さを自覚し、独りよがりにならずに、自分の周囲の人々の良さを認め尊重する」「人への思いやりをもつとともに、気配りを心がけ、絶えず自分をふり返り、人を責めたり人のせいにしたりしない」「決して慌てることなく、目的が達せられるまでじっくりと取り組む」「これらのことが、自らの視野を広げ、人を生かし自分を生かしていくことになる。」最後の「命ながかれ」をあえてこのように解釈しました。

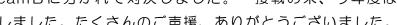
この内容は、子どもにとっても大人にとっても、生きていくための指針となるものです。大きな変化を伴うこれからの時代では、より普遍的なものとして必要とされていくのではないでしょうか。

大徳寺大仙院住職も一休和尚も示したとされるこのことばを、座右の銘として心に刻んでいる方も少なくはないでしょう。私自身、これから生きていくための「大切な心がけ」としていきたいと思っています。

人己心無氣口命

24日(土)に実施しました第43回体育大会では、たくさんの御観覧と多くの声援や励ましをいただき、大変ありがとうございました。

5月24日(土)天気にも恵まれ、体育大会を開 催しました。今年度は学年縦割りでTeamAとT eamBに分かれて対決しました。 接戦の末、今年度はTeamBが勝利































鷹柄中では総合的な学習 の時間に、【ふるさと共 育】に取り組んでいます。 今月は役場職員・鷹栖中 出身の先輩・鷹栖町での 起業者など、さまざまな

方々からのお話を聴く機会がありました。

3学年が、5月7日(水)~5月10日(土)の3 泊4日の修学旅行に行きました。

《主な活動》

1日目:トラピスチヌ修道院⇒函館山夜景観賞

2日目:函館市内自主研修

3日目:ラフティング体験(ニセコ)

4日目:ルスツリゾート

*活動の様子等については、マチコミのタイ

ムラインをご覧ください。

5月17日(土)、早朝より50名近くの保護者・ 生徒・教職員が集まり、作業を進めました。

今年はフィールド内もきれいにすることがで きました。参加されたみなさん、ありがとうご ざいました。



避難訓練、常任委員会 2日(月)

7日(土) 上川南部地区中体連陸上競技大

会(~8日)、音楽大行進

11日(水) 午前授業(教員研修のため)

13日(金) 漢字検定①

*参加者が少ないため実施しません

20日(金) 中体連上川二地区大会(~22日)

23日(月) 部活動中止(~26日)

26日(木) 定期テスト